

## 令和元年度（2019年度） 明石市地域自立支援協議会

## しごと部会 リポート Vol. 27 令和元年（2019年）5月31日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）  
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi\_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

## 第1回（平成30年度 2018年度）チャレンジウィーク活動報告

## ～身近な明石の街で気軽に就労体験ができる機会／職場体験実習～

しごと部会ワーキンググループ「チャレンジ！チャレンジウィーク」では、平成28年度から『明石市に住む障がい者が身近な街で自身の能力を活用しはたらく』ということに焦点を当て活動に取り組んでいます。

## 3年間の活動実績

平成28年度 （2016年度）	・明石市における障がい者の就労実習に関するアンケートの内容検討と作成 （就労実習における企業側の考え（ニーズ）を知る）
平成29年度 （2017年度）	・明石市内の企業に対して、障がい者の就労実習に関するアンケート調査への依頼 ・集計と営業活動（受け入れ企業の開拓）の実施 ※就労セミナー、雇用セミナー等で活動の周知
平成30年度 （2018年度）	・障がい者の就労実習に関するアンケート調査への依頼 ・営業活動（受け入れ企業の開拓）の実施、明石市内の就労継続支援B型事業所 ・就労移行支援事業所への説明会の実施、魚の棚の理事会で活動の周知 ・第1回 チャレンジウィークの開催と活動の振り返り



去る平成31年（2019年）2月25日（月）～3月8日（金）の間でチャレンジウィークを開催しましたので、以下のとおり、活動報告させていただきます。

第1回目の活動は、「小規模でも実施してみても、挙がってくる課題を整理し次に繋げる」ということを目的としました。“雇用を前提とせずに気軽に就労体験ができる”という活動趣旨で、就労系事業所に通う利用者28名が18か所の企業で実習を行いました。

実習中の様子について、実習された方にとっては、事前の企業見学・打ち合わせでは緊張した様子でしたが、企業担当者の丁寧な教えもあり、実習中は皆さん良い表情で実習をされていました。短い実習期間でありましたが、企業ではたらくこと体験を通して、達成感を感じたり、自信を付ける機会になりました。企業実習に同行した事業所職員にとっては、“はじめての同行で緊張した”“今すぐは無理だろうけど、時期が来たら送り出したいです”という前向きな意見も聞け、参加事業所にとっても良い実習機会になりました。受け入れ企業にとっては、“挨拶もしっかりされ、真面目に取り組んでいました”、“次も受け入れたいと思います”職員が学ぶことができた“という感想をいただきました。



実施期間	平成31年（2019年）2月25日（月）～3月8日（金）
実施企業名	明石乗馬協会、上新電機（株）明石店、あかし市民図書館、マクドナルド明石店、マクドナルドイオン明石2番街店、マクドナルド250魚住店、マクドナルド大蔵海岸店、コープ魚住店、コープ大蔵谷店、コープ西明石店、コープ朝霧店、元気あっぷ大久保デイサービスセンター、西江井ヶ島デイサービス、ティーエス808、マルアイ北大久保店、マルアイ硯町店、コープ大久保店、大和製衡（株） 以上、18事業所
実習者数	28名（就労継続支援B型事業所、就労移行支援事業所の利用者）

それぞれの立場（実習参加者＝はたらく体験・自信の回復、事業所＝本人の本来の力を知る・送り出すための支援、企業＝障がいの理解・就労の可能性を知る機会）で活動が一步前進したことを実感できる活動になりました。

就労継続支援B型事業所に目を向ければ、「障がいのある方の働くはたらくことを支え、応援しています」と言いつつ、「福祉的就労」からの脱却には繋がっていないのが現実でした。そんな中で、「チャレンジウィーク」の取り組みは、我々の視点を変え、幅広い角度から実習生を覗いていただくことに繋がりました。「働く経験」を通じて、後の感想に述べられているような企業の人と繋がり、仕事ぶりが認められることによる充実感、満足感という実感が得られました。彼等が人生を豊かに生きていくために、合理的な配慮と“はたらく”ことは欠かせません。

実習の流れ

- ① 参加者募集 ⇒ ②参加申込書の提出（実習先の選定）⇒ ③実習先の見学と担当者との事前打ち合わせ ⇒ ④実習開始（最終日に担当者との振り返り）⇒ ⑤報告書の提出

就労に直結する実習ではありませんが、将来的に企業就労を考えている障がい者に気軽に参加していただけるよう、活動を継続していきたいと考えています。

今年度もチャレンジ・ウィークの活動にご協力くださいませうようよろしくお願いします。



< 実習者の声 >

- ・お客さんから声を掛けられた時、緊張しました。従業員が親切でとても感じが良かったです。
- ・バックヤードの仕事の大変さが分かりました。
- ・商品補充や陳列をすることの大切さを知りました。また、この経験を生かしていきたいです。
- ・職場の方たちが優しく接してくれました。仕事の大変さが分かって良かったです。
- ・介護実習で初めは凄く緊張しましたが、少しずつ利用者と一緒に楽しいお話をしながら、一緒に工作をしたり、お散歩して楽しい1週間でした。
- ・自宅では、配膳や下膳をしたことがないので良い経験になりました。今までも介護の仕事に興味はなかったけど、実習に行き少し興味が湧きました。久しぶりの仕事で疲れました。他の所も行ってみたいです。

で介護の仕事に興味はなかったけど、実習に行き少し興味が湧きました。久しぶりの仕事で疲れました。他の所も行ってみたいです。

< 事業所職員の声 >

- ・コミュニケーションが取れるか心配していましたが、本人から“慣れてくるとできました”と報告があり、苦手なこともできるという自信が持てたと思います。
- ・企業の方が優しく丁寧に教えて下さり、リラックスして作業をすることができました。はじめての作業に対して、根気良く、何度も教えていただきました。普段見られない表情が見られて良かったです。
- ・実習と通して、今後、事業所で取り組んでいく課題（コミュニケーション）が分かって良かったです。
- ・生き生きと仕事をしていたことが印象的でした。多様な場面に関わらせていただき、経験の拡大に繋がりました。本人もこのような職種で働いてみたいという思いにも繋がったようです。
- ・振り返りの時に“障がいがあっても訓練をすれば店長から褒めてもらえるような仕事ができることを感じてもらえて嬉しいです”と答えている姿が印象的でした。
- ・実際の働く場で時間を過ごすことは、プランクのあるご本人にとって良い経験でした。店舗のスタッフさんが付きっきりでサポートしてくださり、本人の安心感に繋がったと思います。
- ・B型事業所において、外部での就労体験は、なかなか提供できていませんでしたので、実際の現場を経験されたことは、本人にとって良い就労場面で良かったです。
- ・実習中の付き添いが不要だったので、多少の心配はありましたが、実習の振り返りで様子を知ることができ、安心しました。また、就職先のひとつとして捉えることができたことが良かったです。
- ・働いてお金をもらうということが、少しイメージできたという言葉が聞けることができ、とても良い経験になったと思います。

< 受け入れ企業の声 >

- ・こちらが見習わなければいけないくらい真面目に勤務してくれました。言われた事は確実にやり、分からないことがあれば聞きに来てくれ安心して仕事を任せられました。また作業のスピードも思っていた以上に速かったです。
- ・2日間という短い期間でしたが一所懸命に取り組んでくれました。スマイルが素敵でした!!
- ・分からないこと、不安に思うことなどは進んで聞いてミスなく仕事をするという姿勢がとても感じられました。とても頑張ってくださいました。
- ・職員の指導のもと頑張っており取り組まれていました。利用者様とコミュニケーションをとるのは大変そうに感じました。
- ・すべての作業に対して本当にまじめに取り組んで頂いたと共に笑顔と挨拶を絶やさず非常に好印象!!
- ・真剣に挨拶を実践しておられました。一所懸命さが伝わりました。
- ・前向きに仕事に取り組む姿は素晴らしいと思います。また挨拶もしっかりできており今後自信をもってがんばってもらいたいと思います。
- ・実習生の個性によって、できる作業に差があると思いますが、現在店舗で短期間研修するのであれば”あいさつ”と”商品補充”が中心になります。今回は事前の打ち合わせと支援者の方の付き添いがありスムーズにすすめることができました。
- ・今後も是非受け入れていきたいと思っています。よろしくお願いします。

